

Primers of Nephrology 連載にあたって

腎臓学，とくに臨床を対象とした腎臓病学は内科，外科などの基本臨床医学を基盤として，その上に加えられる専門医学である。

この専門医学に関する教育の標準化はなかなか困難であり，それぞれの環境にこの専門分野を専攻するグループが存在するか否かにより，その教育の範囲も深度も大きく異なる。

このような観点から，本連載講座は専門医として備えなければならない知識についての minimal requirement をこの分野の専攻を望む医師に示すこと，すなわち，具体的には日本腎臓学会で毎年実施している認定医試験に臨む最小限度の専門知識の獲得ラインであると置き換えることができる。

また，本連載に示された内容は，教育する側にとって腎臓病学の専攻を希望する医師たちに教育すべき最小限度の標準を示していることにもなる。すなわち，教える側，教えられる側の minimal requirement を明確にしたものである。

この連載は2000年秋に東京で行われた第30回日本腎臓学会東部学術大会開催中に10項目につき各1時間にわたり教育講演の形式で行われた Primers of Nephrology において使用されたシラバスを各演者に改めてお願いし，改訂を加えたものである。

日本腎臓学会誌に教育シリーズとして連載することを企画された今井正編集長および編集委員の皆様へ感謝いたします。

最後に，この連載の内容が瞬く間に旧聞となり，新しい情報，より安全にして効果的な治療法，技術などについて毎年改訂につぐ改訂が加えられなければ初期の目的を果たせなくなるような急速な進歩が臨床腎臓病学に起こることを期待します。

第30回日本腎臓学会東部学術大会長 川口良人